

地域とともにある
学校づくりを目指して

2018年4月 秋山小・秋山中は コミュニティ・スクールへ

■問合せ 学校教育課 ☎23-1135

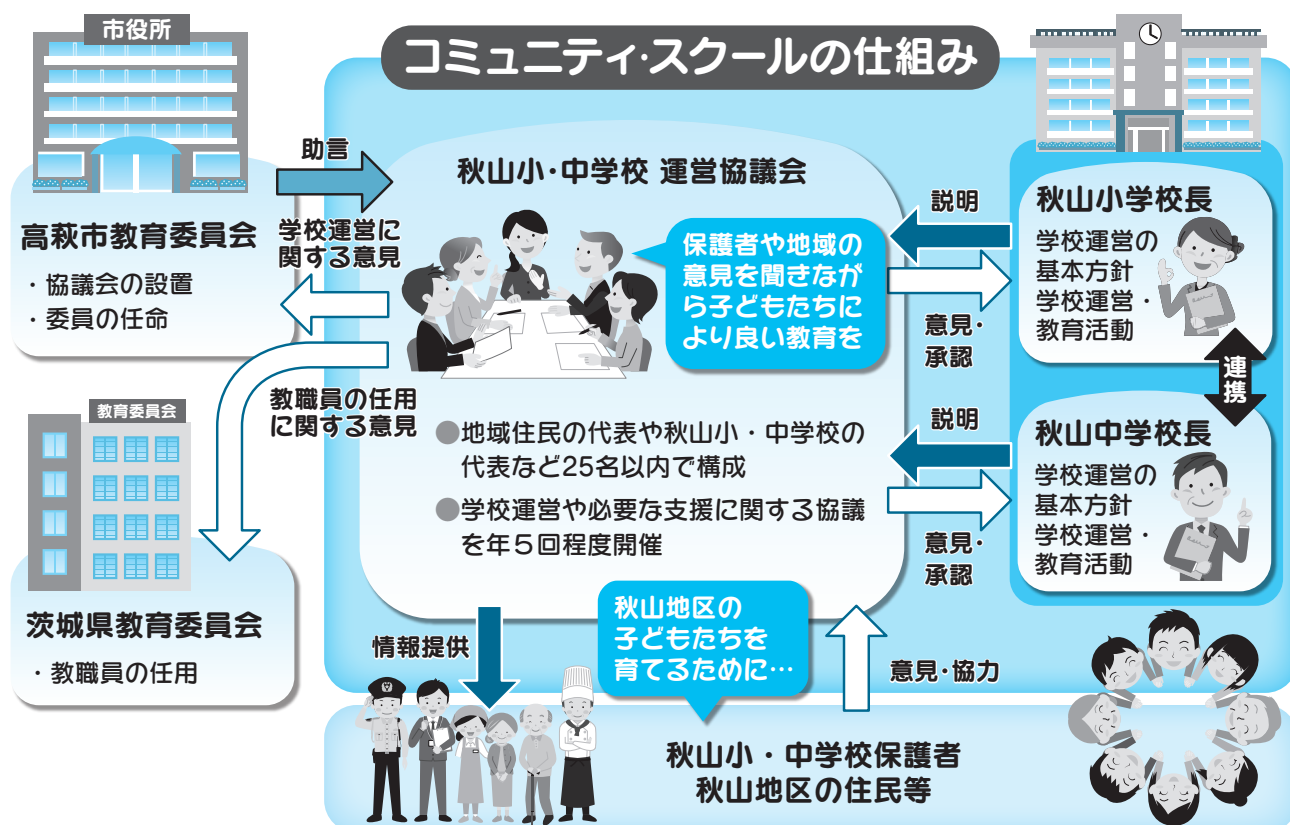
コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)とは？

輝く子供たちの未来の創造に向けて、学校と地域がパートナーとして連携・協働による取組を進めていくためには、学校と地域住民等が「地域でどのような子供たちを育てるのか」、「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有することが重要です。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

コミュニティ・スクールの主な3つの機能

- 校長が作成する学校運営の**基本方針を承認**する(必須)
- **学校運営について**、教育委員会又は校長に**意見を述べる**ことができる
- **教職員の任用に関して**、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に**意見を述べる**ことができる



コミュニティ・スクールに関する Q&A

(学校運営協議会制度)

なぜコミュニティ・スクールにする必要があるのですか？



現代では少子高齢化が進み、地域社会のつながりや支えあいが弱体化しています。また、子どもたちは生活経験や社会性が乏しく、教職員は複雑化・多様化した学校の課題に伴い多忙を極めています。このような環境の変化の中、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へと転換していくことを目指す必要があります。文部科学省でも、平成29年3月「地方教育行政の組織および運営に関する法律」を一部改正し、今後5年をめどに全国すべての学校をコミュニティ・スクールとすることを目指しています。

学校運営協議会制度とはどのような仕組みですか？

学校運営協議会は、高萩市学校運営協議会規則に定められた学校運営に関する事項に対し、一定の権限をもち意思決定を行う合議制の機関で、年5回程度開催します。協議会の委員は、校長など教職員も含めて25名以内で構成され、校長など教職員以外の委員は、高萩市教育委員会が任命する非常勤職員の身分を有し、学校運営の当事者として責任をもって参画します。

コミュニティ・スクールになるのは秋山小・秋山中だけですか？

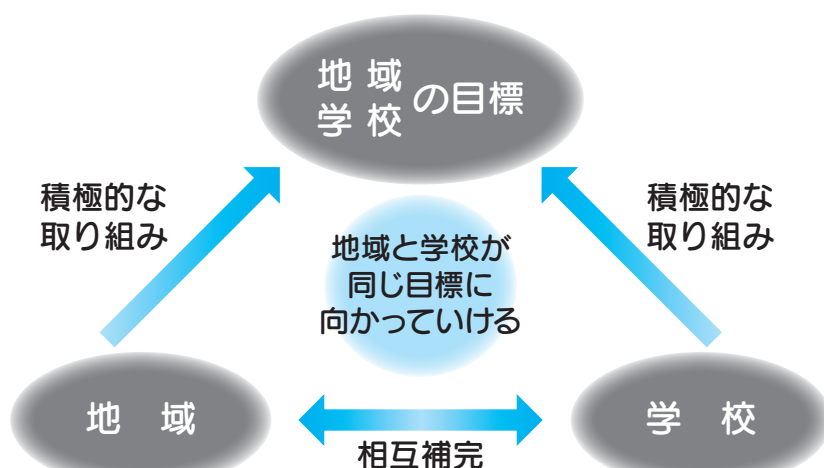
高萩市での導入は初めてとなるため、まずは秋山小・秋山中をモデル校とし、2018年・2019年の2年間で具体的な活動に取り組み、成果や課題について検証していきます。そして、学校や地域の実情を踏まえながら、地域との連携・協働を推進する基盤となるコミュニティ・スクールを2020年には市内すべての小・中学校に導入する予定です。



コミュニティ・スクールでは、どんな効果が出ていますか？

コミュニティ・スクールでは、保護者・地域住民等も教育の当事者となることで責任感をもち、積極的に子どもへの教育に携わることができるようになります。また保護者・地域住民等が学校運営や教育活動へ参画することで、自己有用感や生きがいにつながり、子どもたちの学びや体験が充実します。さらに、保護者・地域住民等と学校が“顔が見える”関係となり、理解と協力を得た学校運営が実現します。

他にも、大規模災害時等、緊急な対応が必要な場面においても、学校と地域が一体となり、迅速かつ組織的な対応ができるようになります。



地域と学校の共通の目的が設定されると、お互いが前向きになり、子どもたちへの教育効果がぐいに期待できます。